

前期基本計画 平成27年度 政策方針評価書

政 策： 06 総合計画の認知度を高め行財政基盤の確立を目指します

担当部長職・氏名	企画総務担当部長 加賀谷 建
----------	----------------

1. 政策の平成27年度までの実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	<p>外部環境が変化する時代に、組織の強化、職員の成長、自主財源の確保に努め、資源の配分を明確化する必要があります。また、総合計画の方針展開を分かりやすく市民に伝え「住民自治日本一を目指す地域社会計画」の認知度を高めることで「幸福感を育む地域づくり」を目指します。</p> <p>前期四年間の展開は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の認知度を高めるための見える化 ・事務事業の効率化としての番号制度の構築 ・公共施設等総合管理計画の策定と保全計画の運用 ・自主財源の確保と持続的な健全財政基盤の構築 <p>とするものであります。</p> <p>これらのことがめざすまちの姿「地域と世代を超えて集い、人との関わりに幸せを実感して地域づくりができるまち」の実現に向けて、各部門への経営資源の最適な配分をします。この指標として「滝沢市のサービスは良いと感じている人の割合」で確認していきます。</p>
--	--

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 滝沢市の行政サービスは、良いと感じている人の割合 単位 %	35.8	40	42	43	45	46	C	
			36	-	-	-	-	2.0	
2	幸福 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	E	
			72.3	-	-	-	-	△54.3	
	単位								

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 06010000 信頼される行政職員の育成 職員の研修参加者数 単位 人	399	313	320	327	333	336	F	
			664	-	-	-	-	△420.6	
2	幸福 06010000 信頼される行政職員の育成 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	61	62	64	66	68	70	D	
			57.6	-	-	-	-	△37.8	
3	暮らし 06020000 住民自治につながる総合計画の確実な推進 総合計画を知っている人の割合 単位 %	13.5	20	30	40	50	55	C	
			15.7	-	-	-	-	5.3	
4	幸福 06020000 住民自治につながる総合計画の確実な推進 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	61	62	64	66	68	70	D	
			57.6	-	-	-	-	△37.8	
5	暮らし 06030000 安定した行政情報システム基盤の確保 システム安定稼働率 単位 %	100	100	100	100	100	100	A	
			100	-	-	-	-	100.0	
6	幸福 06030000 安定した行政情報システム基盤の確保 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	61	62	64	66	68	70	E	
			57.6	-	-	-	-	△37.8	

前期基本計画 平成27年度 政策方針評価書

政 策：06 総合計画の認知度を高め行財政基盤の確立を目指します

担当部長職・氏名	企画総務担当部長 加賀谷 建
----------	----------------

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値 平成26年度	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値 平成31年度	進捗状況 進捗率(%)
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
7	暮らし 06040000 次代につながる財務基盤の確立 財政健全化判断比率（実質公債費比率） 単位 %	6.1	6.1	5.8	5.3	4.7	4.2	F
			6.9	-	-	-	-	0.0
8	暮らし 06040000 次代につながる財務基盤の確立 財政健全化判断比率（将来負担比率） 単位 %	51.3	45.7	42.7	39.8	39.8	39.8	F
			60.4	-	-	-	-	0.0
9	幸福 06040000 次代につながる財務基盤の確立 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 パーセント	61	62	64	66	68	70	D
			57.6	-	-	-	-	△37.8
10	暮らし 06050000 豊かな暮らしにつながる適正で効率的な課税 電子申告等の利用率 単位 %	48	50	53	56	60	61	A
			54	-	-	-	-	46.2
11	幸福 06050000 豊かな暮らしにつながる適正で効率的な課税 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	61	62	64	66	68	70	D
			57.6	-	-	-	-	△37.8
12	暮らし 06050000 豊かな暮らしにつながる適正で効率的な課税 固定資産評価審査委員会の容認決定件数 単位 件	0	0	0	0	0	0	A
			0	-	-	-	-	0.0
13	暮らし 06060000 納税しやすい環境の整備と確実な税財源の確保 一般税の収納率 単位 %	93.8	94.1	94.4	94.7	95	95.1	A
			96.5	-	-	-	-	207.7
14	幸福 06060000 納税しやすい環境の整備と確実な税財源の確保 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	61	62	64	66	68	70	D
			57.6	-	-	-	-	△37.8
15	暮らし 06070000 市民に信頼される会計事務の実現 伝票返却率 単位 %	10.5	10.25	9.5	9	8	7.5	B
			7.8	-	-	-	-	90.0
16	幸福 06070000 市民に信頼される会計事務の実現 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	61	62	64	66	68	70	D
			57.6	-	-	-	-	△37.8
	単位							
	単位							
	単位							

前期基本計画 平成27年度 政策方針評価書

政策：06 総合計画の認知度を高め行財政基盤の確立を目指します

担当部長職・氏名	企画総務担当部長 加賀谷 建
----------	----------------

2. 政策の実現に向けての平成27年度までの取り組み状況を分析する

(1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

A	達成した
<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の認知度を高めるため市民全戸へのパンフ、広報などによる周知啓発、フォーラムの開催など総合計画の理解を深める取組を行いました。 ・番号制度の対応は利用開始に向けたシステム・業務・例規などの計画を円滑に推進しました。 ・公共施設等総合管理計画については新公会計制度に向けた固定資産台帳の策定に着手し、計画通り推進しました。 ・自主財源の確保については新財源としてふるさと納税の取り組み、収納率向上対策の効果が見え収納率が向上しました。また、健全財政基盤の構築について歳入歳出の両面からの見直しと予算配分方式への転換により、各部の事務事業評価の仕組みづくりを実施しました。 	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成27年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民参画による総合計画の広報活動 ・自主財源確保に向けた環境整備と改善 <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報活動については、地域懇談会の取組により全自治会対象に実施しました。 ・分野別計画の「滝沢市まち・ひと・しごと創生戦略計画」の周知と新たな取り組みを関係部門と事業推進しました。 ・自主財源の確保については、前年を上回る収納率となり、税財源の確保につながっています。また、平成27年4月からコンビニ収納の開始により納付環境が整っています。ふるさと納税の仕組みとして、今後も引き続き納税環境と返礼品の検討について取り組んでいきます。 	

3. 政策の実現に向けて平成27年度実施後での変化（外部環境・内部環境）を認識する

A	取組みの継続
<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方財政状況の制度変化 ・消費税の延期 ・経済状況の低迷 <p>【内部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口の鈍化 ・高齢化率の上昇 <p>【環境変化と対応の認識】</p> <p>地方財政状況の制度変化については、大きな税収の影響はないものの、将来見通しの財政の観点からの中期財政計画等の見直し が必要です。</p>	

4. 政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成29年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き住民自治と財政基盤の構築のため実現に向け、人材育成と財政構造改革に関する取組を進めます。 <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受益と負担の考え方の検討 ・市のセーフティネットの構築への対応 ・収納率向上策への更なる研究 ・新財源の運用と検討 ・財政状況の分析と公表 	

